



財団法人 北海道農業近代化技術研究センター

第45回地域活性化推進事業

講演会



食で元気に地域づくり

貫田シェフ考案の地域農産物を使った料理レシピを公開



ヌキタ・ロフィスト 貫田桂一 様

と き:平成 **23** 年 **11** 月 **29** 日(火)

13:30~15:00

ところ:プラザホテル板倉

(深川市3条6番7号)


主 催: 財団法人 北海道農業近代化技術研究センター

後 援: 空知総合振興局

深川市・滝川市・妹背牛町

JA きたそらち・JA 北いぶき・JA たきかわ

水土里ネット: 深川土地改良区・神竜土地改良区・空知土地改良区



▶▶ ごあいさつ

財団法人 北海道農業近代化技術研究センター
理事長 上田 清美


本日は、地域活性化推進事業講演会に、ご参加いただき誠にありがとうございます。

当財団におきましては、公益事業の一つとして、「地域活性化推進事業」を実施してきておりますが、お陰様をもちまして今年で45回を迎えることができました。これまでの皆様のご支援・ご協力に対し、改めて厚くお礼申し上げます。

今年は、北の料理人、貫田桂一様を講師にお迎えし、「食で元気に地域づくり」をテーマに講演会を行うことといたしました。貫田様は、フードディレクターとして北の農産物を活かした特産品の開発指導を実践されるとともに、食と観光を活かした地域づくり等でご活躍されており、今後の地域の活性化を推進する上で、有意義なご示唆をいただけるものと確信しております。

当財団におきましては、これまでも地域農業の振興を図るため、食の安全・安心の基本となる土や水などの農村環境の保全に努めてきておりますが、今後とも本道農業の持続的な発展に向け、地産地消の一層の推進など、生産者と消費者が一体となった取組を進めて参りたいと考えております。

今後とも当財団の事業推進に当たり、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶と致します。



▶▶ 講演者 貫田桂一 様 のご紹介


1960年生まれ、札幌市在住。大阪の調理師学校を卒業し、札幌市内のホテルなどで修業。32歳でホテル料理長となり14年間勤めた後、早期退職して2007年、個人事務所又キタ・ロフィズを設立、講演や食に関する指導・演出をするフードディレクターとして活躍されております。

今年6月には、札幌市中央区のIKEUCHI GATE（旧・池内百貨店）に料理スタジオ『スタジオ NUKITA』をオープンしました。

2008年北海道洞爺湖サミットではロシア政府代表団の料理指導を担当。農林水産省「地産地消の仕事人」、北海道食育コーディネーター、北海道教育大学特任教授なども務めています。

著書「北の料理人」Ⅰ・Ⅱ（晶文社）は10年を越すロングセラー。特製「コロッケ de 北海道」シリーズは、“コープさっぽろトック”や“どさんこプラザ”で人気の品です。

ご当地メニュー&特産品の開発指導、食と観光を活かした地域づくりの助言、食育講習などで、「稚内ネオすり身・丼」（稚内市）、「さんまエスカロップ」（根室市）、「ふぐたこ（福多幸）弁当」（初山別村）などの開発にも携わっています。





晶文社 02年刊

食で元気に 地域づくり



平成23年
11月29日
貫田 桂一

地域のブランド化

地域を見直す

土壌・天候・産地特性
を再認識しよう！

顧客を明確に

誰に食べてもらい
たいか集客を絞る

基準をつくる

作物や料理メニュー
に7か条をつくる

ブランド化の効能

ふつうのお米

通常の流通
地元出荷 90%
コメ1kg→250円

収入

ご当地・食材

地元で買う
地元米屋 5%
コメ1kg→500円

雇用

ご当地・料理

地元で食べる
地元飲食店 5%
コメ1kg→5000円

地産地消

地産地活

農業で地域を守る



農業の価値とは

食料の供給と生産
自然と地域の保全

料理で人を呼ぶ

近隣農産物を調和さ
せ楽しいご当地料理



地域に貢献する

豊かな過疎で
地域に人を呼ぶ

楽しさを情報発信
して心豊かな地域

北海道の自立

食料供給基地→
食文化発信基地

100年先まで
地域の味を守る

ごみの分別・環境問題
森や川をきれいに！

■■ 財団事業のご紹介 ■■

平成 23 年度から新たに取組みを始めた事業のうちの主なものをご紹介します。

■ アンテナショップ構想の推進 : 北空知・中空知「新鮮農産物直売市」を札幌で開催

地域ブランド力を高めるため、深川・滝川・妹背牛の3市町の農産物及びこれらの加工品等を販売する直売市を4回(7月、8月、10月、11月)開催しました。

北空知・中空知の関係機関・JAと連携し、地域の農家の方々が生産した時期の農産物を提供しましたところいずれの回も多くの方にお買い上げいただき好評を得ました。

- ・ 場所：財団の札幌支所 NK エルムビル 1 階（札幌駅北口から徒歩5分）



開店前から、行列ができるほど
多くのお客様にご来店いただきました



北空知・中空知からのたくさんの新鮮な農産物



開店直後の店内の様子



北空知産の新米を今摺米で販売いたしました

■ 首都圏での米の販売促進活動の推進 : 東京高島平団地で新米ふっくりんこを配布

北空知・中空知地域のブランドの知名度アップを図ることを目的に、東京都において、新米ふっくりんこのサンプル米を配布しました。

- ・ 場所：東京都板橋区高島平団地、高島平まつり
- ・ 日時：平成 23 年 10 月 30 日（日）



小学校跡地でのお米の配布に長蛇の列



試食用のお米を配布、背景にはマンモス団地がそびえている